



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年8月14日

上場会社名 株式会社ワイヤレスゲート 上場取引所 東
 コード番号 9419 URL https://www.wirelessgate.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 濱 暢宏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼CAO (氏名) 原田 実 TEL 03-6433-2045
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の業績 (2023年1月1日～2023年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	4,266	—	63	—	63	—	92	—
2022年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	8.62	—
2022年12月期第2四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、2022年12月期第2四半期は連結業績を開示しておりましたが、2023年12月期第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2022年12月期第2四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。
 2. 2023年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの条件付発行可能潜在株式として取り扱われる新株予約権であり、所定の条件を満たしておらず希薄化効果を有していないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	2,897	863	28.7
2022年12月期	2,787	772	26.5

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 831百万円 2022年12月期 738百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の業績予想 (2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,318	△2.5	209	9.6	204	8.6	146	△25.2	13.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年12月期2Q	10,779,774株	2022年12月期	10,779,774株
-------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年12月期2Q	53,000株	2022年12月期	53,000株
-------------	---------	-----------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年12月期2Q	10,726,774株	2022年12月期2Q	10,726,774株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、2023年1月1日付で当社の完全子会社である株式会社ワイヤレスマーケティング・ラボを吸収合併したことに伴い、第1四半期会計期間より非連結決算へ移行いたしました。そのため、当社は、前第2四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同期との比較分析は行っていません。

当第2四半期累計期間(2023年1月1日～2023年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が緩和され、経済社会活動の正常化及びインバウンド市場の持ち直しが見られるなど、回復の兆しが見え始めております。一方で、不安定な国際情勢及び資源・エネルギー価格の高騰や物価高によって、先行きは不透明な状態が続いております。

このような中、当社では「原価改善」及び「プロダクトミックス」等による収益基盤強化を継続しつつ、当社の主力事業であるWiMAXには前事業年度からの純増を継続しております。また、「ワイヤレスゲートWi-Fi+スマホ保険付き/PC保険付き」、「ウイルスバスター」、「ピカプロDX」等の周辺サービス、「プリペイドSIM」等につきましても契約(販売)数は増加しております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は、4,266,290千円となりました。利益につきましては、営業利益63,310千円、経常利益63,951千円、四半期純利益92,459千円となりました。

当社は、ワイヤレス・ブロードバンド関連事業の単一セグメントであります。売上高につきましては区分して記載しており、それぞれの事業ごとの取組みは次のとおりであります。

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	増減額	増減率 (%)
ワイヤレス・リモートサービス事業	4,266,290	—	—
ワイヤレスゲートWi-Fiサービス	4,263,421	—	—
リモートライフサポートサービス	2,868	—	—

(ワイヤレス・リモートサービス事業)

当第2四半期累計期間における売上高は4,266,290千円となりました。

・ワイヤレスゲートWi-Fiサービス

ワイヤレスゲートWi-Fiサービスの売上高の約8割を占めるWiMAXについては、ホームルーター普及による市場拡大を機会と捉えた営業活動の強化、代理店様等との協業深化及び販路拡大によって当社契約数の単月純増を継続しております。引き続き全国各地の販売代理店様との提携強化を進め、モバイルルーター及びホームルーター需要獲得、「ワイヤレスゲートWi-Fi+スマホ保険付き/PC保険付き」、「ウイルスバスター」、「ピカプロDX」等の周辺サービスの販売拡大や新商品開拓を通じて顧客単価の拡大に取り組んでまいります。

この結果、ワイヤレスゲートWi-Fiサービスの当第2四半期累計期間における売上高は4,263,421千円となりました。

・リモートライフサポートサービス

成長戦略に掲げております「販売代理店DXシステム」の事業を進めております。販売代理店様の業務を網羅的に支援することを通じて、当社と販売代理店様との持続的な協業関係を構築していきます。それによって当社の販売力が強化されると共に、新たなコンテンツ開発・調達の強化に取り組んでまいります。

この結果、リモートライフサポートサービスの当第2四半期累計期間における売上高は2,868千円となりました。

※参考 2020年度までの旧区分による売上高

旧区分による売上高		新区分による売上高	
① ワイヤレス・ブロードバンド事業		① ワイヤレス・リモートサービス事業	
・モバイルインターネットサービス	3,591,678千円	・ワイヤレスゲートWi-Fiサービス	4,263,421千円
・公衆無線LANサービス	473,934千円	・リモートライフサポートサービス	2,868千円
・オプションサービス	112,623千円		
・レンタルWi-Fiサービス	2,768千円		
・リモートライフサポートサービス	2,868千円		
・その他	43,565千円		
② ワイヤレス・ビジネスドメイン事業			
・その他法人向けサービス	38,851千円		
合計	4,266,290千円	合計	4,266,290千円

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における資産・負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりです。

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年6月30日)	増減額	増減率 (%)
流動資産	2,488,485	2,668,488	180,003	7.2
固定資産	299,018	228,876	△70,141	△23.5
資産合計	2,787,503	2,897,364	109,861	3.9
流動負債	2,005,208	2,023,842	18,633	0.9
固定負債	10,170	10,223	52	0.5
負債合計	2,015,379	2,034,065	18,685	0.9
純資産合計	772,123	863,299	91,175	11.8
負債・純資産合計	2,787,503	2,897,364	109,861	3.9

(資産の部)

当第2四半期会計期間末における資産の額は、前事業年度末に比べ109,861千円増加し2,897,364千円となりました。

当第2四半期会計期間末における流動資産の額は、前事業年度末に比べ180,003千円増加し2,668,488千円となりました。これは主に、現金及び預金が251,558千円、売掛金が26,832千円増加した一方で、商品が25,380千円、前払費用が72,757千円減少したためであります。

当第2四半期会計期間末における固定資産の額は、前事業年度末に比べ70,141千円減少し228,876千円となりました。これは主に、繰延税金資産が41,202千円増加した一方で、有形固定資産が8,348千円、2023年1月1日付で当社の完全子会社である株式会社ワイヤレスマーケティング・ラボを吸収合併したことに伴い関係会社株式が100,000千円減少したためであります。

(負債の部)

当第2四半期会計期間末における負債の額は、前事業年度末に比べ18,685千円増加し2,034,065千円となりました。

当第2四半期会計期間末における流動負債の額は、前事業年度末に比べ18,633千円増加し2,023,842千円となりました。これは主に、買掛金が31,280千円、未払金が36,643千円、未払法人税等が2,387千円増加した一方で、1年内返済予定の長期借入金50,004千円減少したためであります。

当第2四半期会計期間末における固定負債の額は、前事業年度末に比べ52千円増加し10,223千円となりました。

これは主に、資産除去債務が52千円増加したためであります。

(純資産の部)

当第2四半期会計期間末における純資産の合計は、前事業年度末に比べ91,175千円増加し863,299千円となりました。これは主に、利益剰余金が92,459千円増加したことによるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、前事業年度末に比べ251,558千円増加し、1,603,890千円となりました。なお、増加額には連結子会社の合併による現金及び現金同等物の増加額97,240千円を含んでおります。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは204,803千円の収入となりました。主な収入要因として、税引前四半期純利益60,341千円、棚卸資産の減少25,380千円、仕入債務の増加31,280千円、未払金の増加34,305千円、前払費用の減少72,534千円が発生した一方で、売上債権の増加26,832千円、法人税等の支払額7,222千円が発生したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは481千円の支出となりました。主な支出要因として、有形固定資産の取得による支出481千円が発生したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは50,004千円の支出となりました。主な支出要因として、長期借入金の返済による支出50,004千円が発生したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月14日に公表しました通期の業績予想に変更はありません。

(単位：百万円)

	2022年12月期 (実績)	2023年12月期 (予想)	増減率
売上高	8,531	8,318	△2.5%
営業利益	191	209	9.6%
経常利益	188	204	8.6%
当期純利益	195	146	△25.2%

※ 上記業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,352,332	1,603,890
売掛金	817,290	844,122
商品	79,000	53,619
前渡金	—	238
前払費用	247,589	174,831
その他	3,306	2,690
貸倒引当金	△11,033	△10,905
流動資産合計	2,488,485	2,668,488
固定資産		
有形固定資産	38,580	30,231
無形固定資産	3,001	1,484
投資その他の資産		
投資有価証券	84,239	82,903
関係会社株式	108,427	8,427
長期前払費用	307	165
繰延税金資産	30,622	71,825
長期未収入金	188,499	187,597
その他	33,838	33,838
貸倒引当金	△188,499	△187,597
投資その他の資産合計	257,436	197,160
固定資産合計	299,018	228,876
資産合計	2,787,503	2,897,364
負債の部		
流動負債		
買掛金	875,180	906,460
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	91,634	41,630
未払金	498,616	535,259
未払法人税等	13,493	15,880
未払消費税等	19,104	18,561
預り金	3,099	3,611
前受収益	964	438
その他	3,116	2,000
流動負債合計	2,005,208	2,023,842
固定負債		
資産除去債務	10,170	10,223
固定負債合計	10,170	10,223
負債合計	2,015,379	2,034,065
純資産の部		
株主資本		
資本金	908,009	908,009
資本剰余金	847,230	847,230
利益剰余金	△889,019	△796,559
自己株式	△127,657	△127,657
株主資本合計	738,563	831,022
新株予約権	33,560	32,276
純資産合計	772,123	863,299
負債純資産合計	2,787,503	2,897,364

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	4,266,290
売上原価	2,154,036
売上総利益	2,112,253
販売費及び一般管理費	2,048,942
営業利益	63,310
営業外収益	
受取利息	1
受取手数料	331
未払配当金除斥益	891
貸倒引当金戻入額	1,380
その他	287
営業外収益合計	2,893
営業外費用	
支払利息	916
投資事業組合運用損	1,335
営業外費用合計	2,252
経常利益	63,951
特別利益	
新株予約権戻入益	4,589
特別利益合計	4,589
特別損失	
固定資産除却損	5,260
抱合せ株式消滅差損	2,939
特別損失合計	8,200
税引前四半期純利益	60,341
法人税、住民税及び事業税	9,084
法人税等調整額	△41,202
法人税等合計	△32,117
四半期純利益	92,459

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	60,341
減価償却費	7,425
固定資産除却損	5,260
抱合せ株式消滅差損益 (△は益)	2,939
株式報酬費用	3,305
新株予約権戻入益	△4,589
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,030
受取利息	△1
支払利息	916
投資事業組合運用損益 (△は益)	1,335
売上債権の増減額 (△は増加)	△26,832
棚卸資産の増減額 (△は増加)	25,380
仕入債務の増減額 (△は減少)	31,280
長期前払費用の増減額 (△は増加)	142
未払金の増減額 (△は減少)	34,305
前払費用の増減額 (△は増加)	72,534
その他	△355
小計	212,357
利息の受取額	1
利息の支払額	△932
法人税等の支払額	△7,222
その他の収入	600
営業活動によるキャッシュ・フロー	204,803
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△481
投資活動によるキャッシュ・フロー	△481
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△50,004
財務活動によるキャッシュ・フロー	△50,004
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	154,318
現金及び現金同等物の期首残高	1,352,332
連結子会社の合併による現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	97,240
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,603,890

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、この会計方針の変更による四半期財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

当社は、ワイヤレス・ブロードバンド関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。